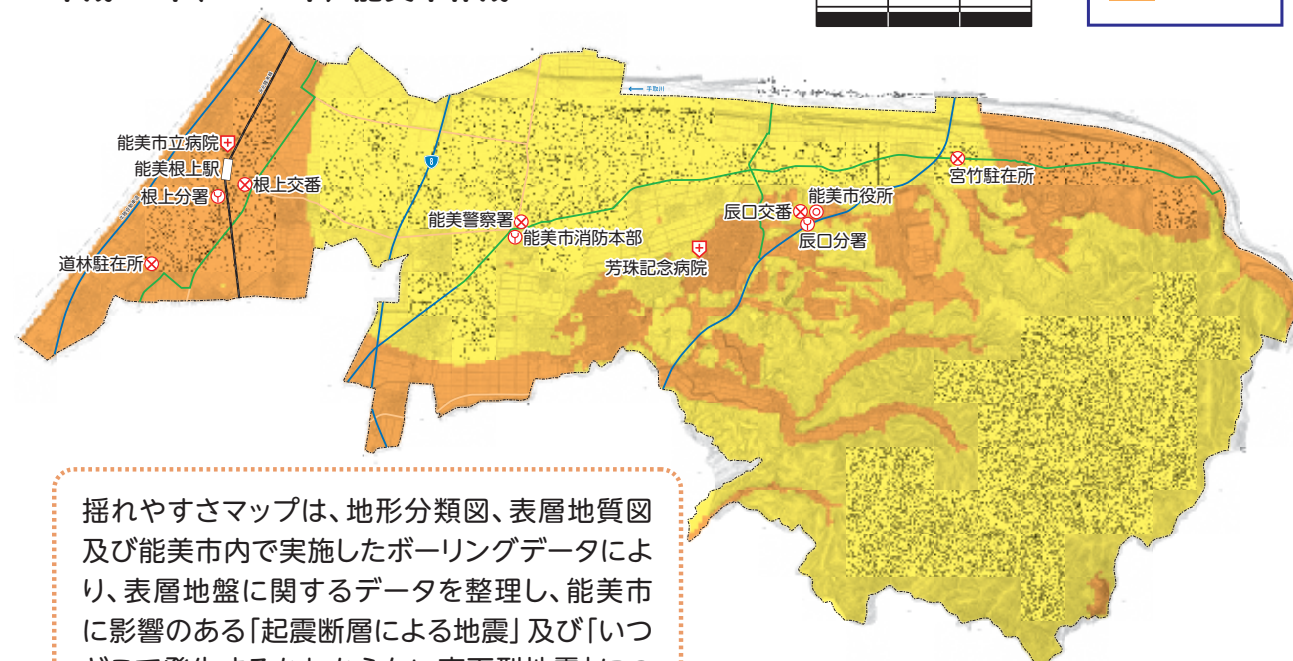


地震ハザードマップ



揺れやすさマップ

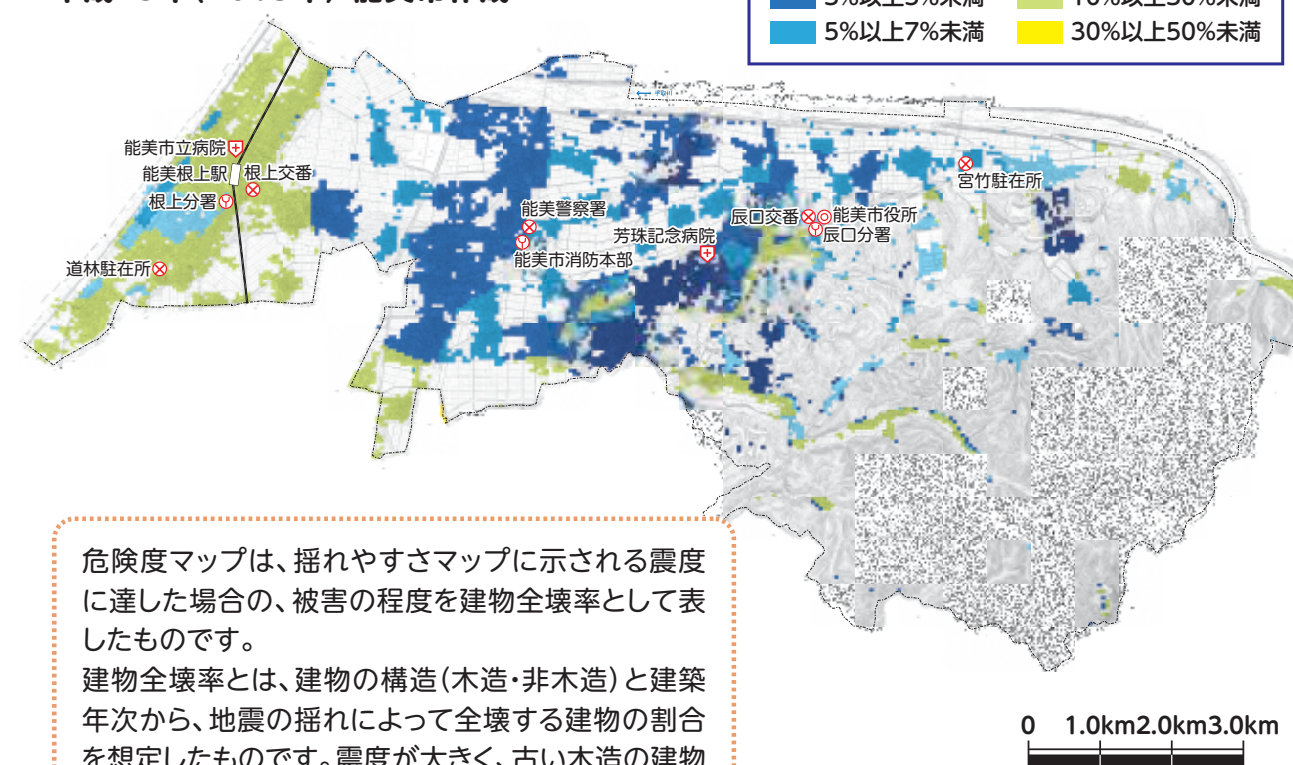
平成25年(2013年) 能美市作成



揺れやすさマップは、地形分類図、表層地質図及び能美市内で実施したボーリングデータにより、表層地盤に関するデータを整理し、能美市に影響のある「起震断層による地震」及び「いつどこで発生するかわからない直下型地震」について最大の揺れの大きさを表しています。

家屋倒壊危険度マップ

平成25年(2013年) 能美市作成

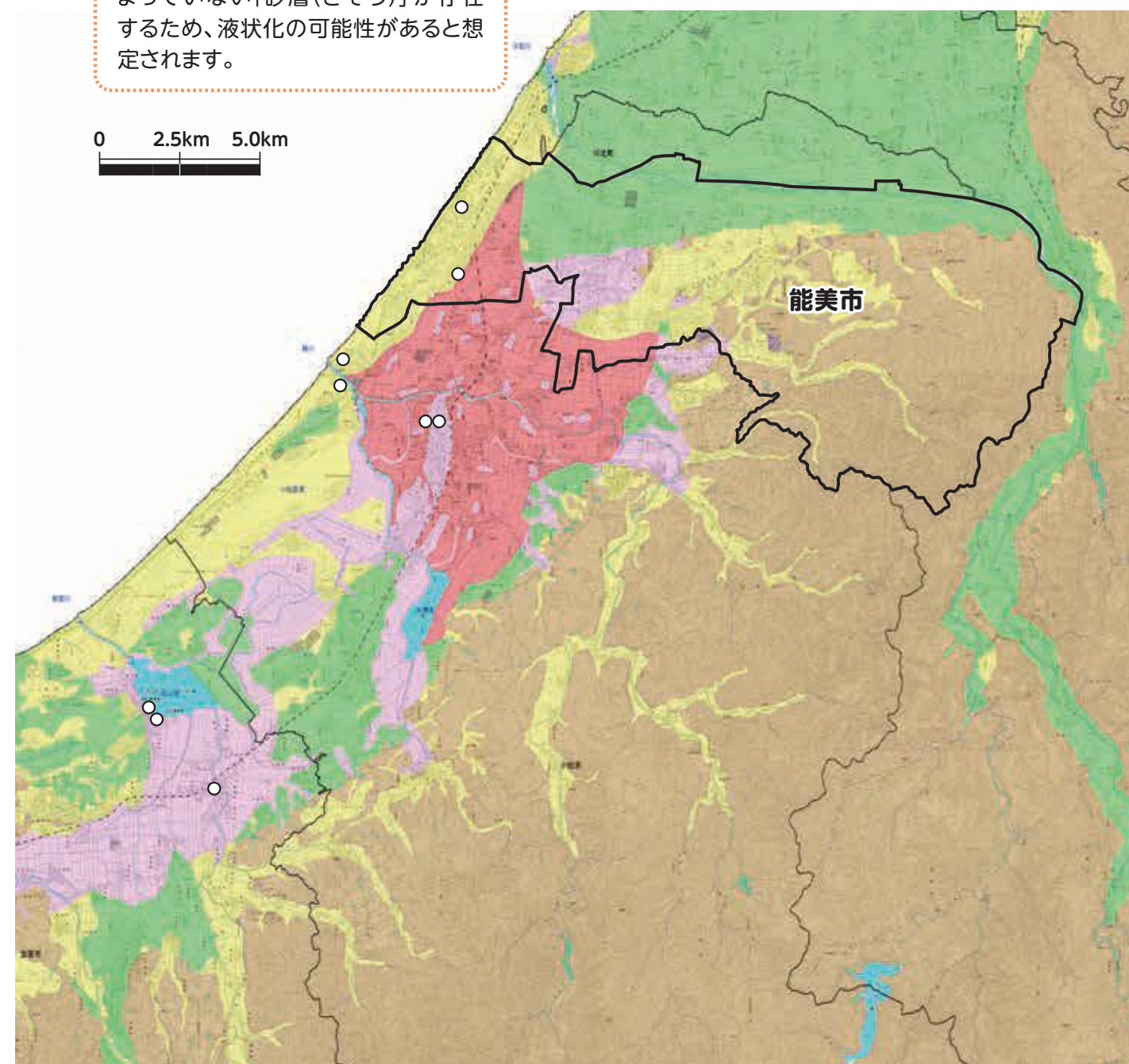


危険度マップは、揺れやすさマップに示される震度に達した場合の、被害の程度を建物全壊率として表したものです。
建物全壊率とは、建物の構造(木造・非木造)と建築年次から、地震の揺れによって全壊する建物の割合を想定したものです。震度が大きく、古い木造の建物が多い地区では、建物全壊率が高く想定されます。

液状化しやすいさマップ

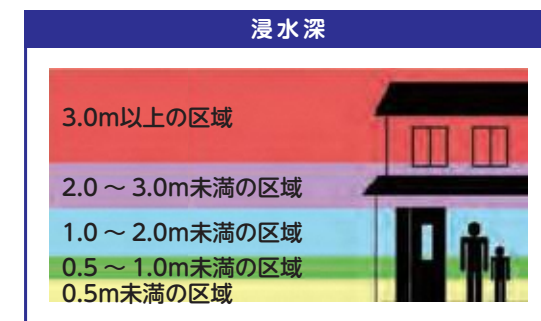
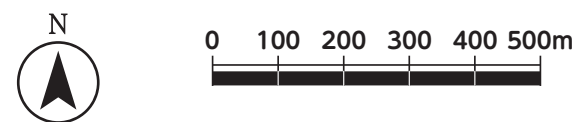
平成25年(2013年) 国土交通省作成

能美市周辺の特徴として、段丘と扇状地においては主に締まり具合の良い「砂礫(されき)」で構成されているため液状化の可能性は低いですが、扇状地の手取川左岸下流域では締め固まっていない「砂層(さそう)」が存在するため、液状化の可能性があると考えられます。

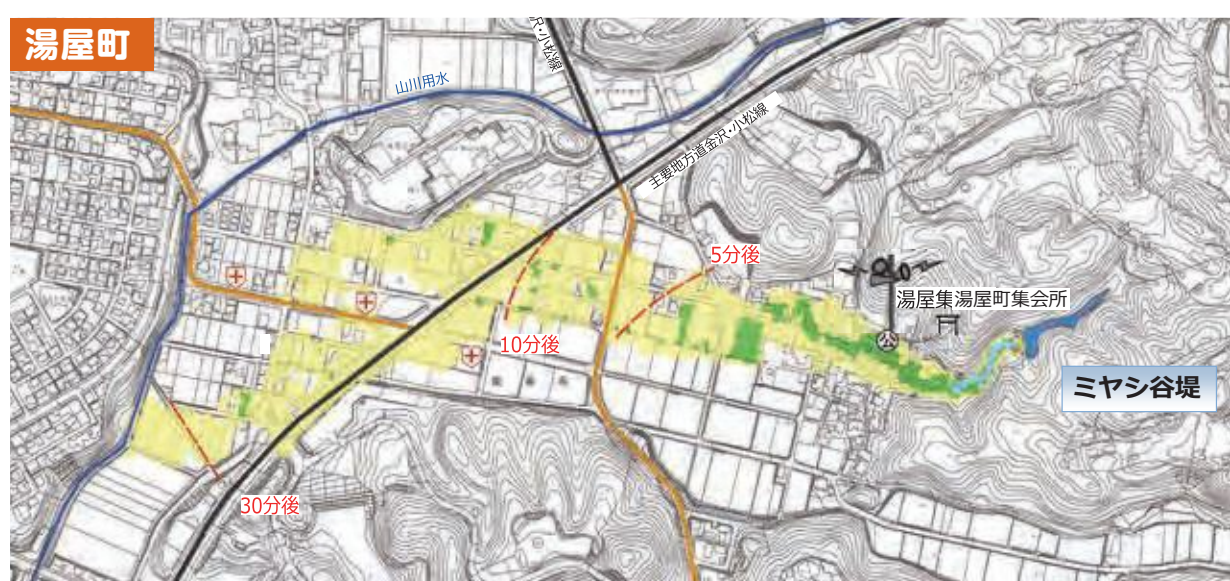


(注意)
①このマップは、地盤の液状化という点のみに注目し「液状化しやすいさの傾向」を示したものです。このマップでは被害想定は表していません。
②液状化しやすいとされる地形条件と地盤(ボーリング)データを参照しており、多くの推定を含んでいます。したがって、大まかな傾向を示したものととらえてください。
③地盤が液状化しても被害が現れない場合があります。このマップは、液状化による被害の有無にかかわらず、あくまでも地盤の性質としての「液状化しやすい傾向」を示したものです。

ため池ハザードマップ



- この地図は、ため池が地震や大雨により破壊した場合に想定される浸水状況を示したものです。
- 想定される浸水範囲は、ため池の被災状況・気象状況によって異なりますのでご注意ください。



地図の見方

公民館

学校

消防関係施設

病院

神社

県道

緊急輸送道路

河川・水路

洪水到達時間線

防災無線スピーカー

```

graph LR
    A[地震・大雨] --> B[ため池管理者  
(生産組合長)]
    B --> C[ため池緊急点検]
    C --> D[町会長へ報告]
    D --> E[ため池異常あり]
    D --> F[ため池異常なし]
    E --> G[必要に応じて  
市・役員などへ連絡]
    E --> H[応急措置の指示]
    
```

12

13

ハザードマップ

地震ハザードマップ



津波ハザードマップ

平成25年(2013年) 能美市作成

津波ハザードマップとは、津波による被害を予測し、その被害範囲を地図化したものです。予測される災害の被害範囲及び被害程度などの情報が、地図上に図示されています。

また、ハザードマップを利用することにより、災害発生時に一人ひとりが、迅速・的確に避難を行うことができ、二次災害発生を避けることができるため、被害の軽減に有効となるものです。
日頃の備えや緊急時の行動の確認など各家庭や地域で避難を立てる際にご活用ください。

根上海岸		
最大津波高	浸水面積	最大津波到達時間
3.6m	0.21km ²	34分



拡大地図

津波のしくみと特徴

強い地震や、長い間ゆっくりと揺れを感じたときは、**津波に注意**しましょう。



津波はジェット機なみの速さで襲って来る!



津波は前ぶれなく襲って来る!



津波の破壊力はすさまじい!



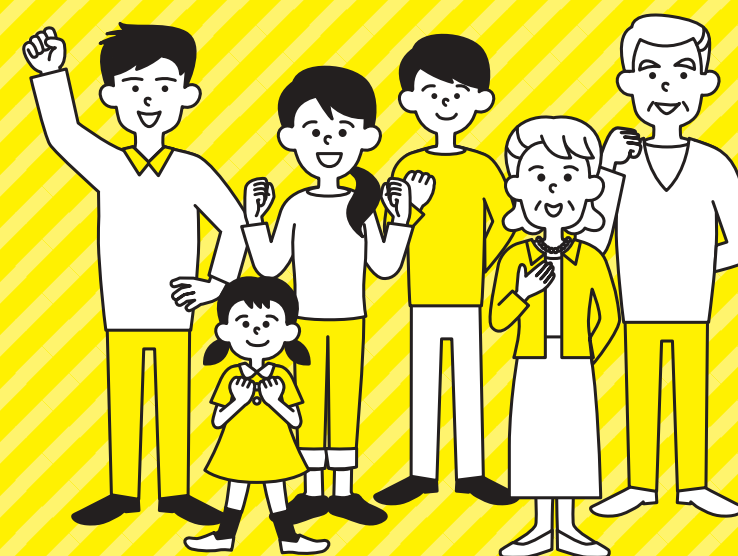
津波は繰り返し襲って来る!

次のページからは

日頃から読んで、

いざ!というときに
役立つ内容です。

わたしたちといっしょに、学びましょう!



ぜひ、
手元に置いて
活用して
くださいね!